



～より参加者の“身”となる活動へ～
関西部会活動状況報告

XMLコンソーシアムWeek

関西部会

株式会社ブレインワークス 芦田 尚人

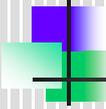
本日の発表



2007年度活動検討
現状の問題点
解決策検討

2007年度活動報告
1)技術習得
実装技術
SOA
2)情報共有
3)外部団体交流

2008年度活動方針
活動方針



参加メンバー(今年度活動者)

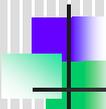


XML Consortium

- | | |
|-----------------|---------------|
| ■ マイクロソフト | 依田 忠高 |
| ■ 日本アイ・ピー・エム | 佐治 和也 |
| ■ 日本ユニシス | 松岡 慎治 |
| ■ コベルコシステム | 幸田 健(サブリーダー) |
| ■ アークウェイ | 丸山 和秀(サブリーダー) |
| ■ プレイネットワークス | 中川 聖悠 |
| ■ プレイネットワークス | 伊川 和宏 |
| ■ プレイネットワークス | 松尾 萌 |
| ■ プレイネットワークス | 宮原 功拓 |
| ■ プレイネットワークス | 芦田 尚人(リーダー) |
| ■ 日本アイ・ピー・エム | 伊藤 健太郎 |
| ■ 日本システムウェア | 松本 真由子 |
| ■ 日立システムアンドサービス | 高嶋 裕 |
| ■ プレイネットワークス | 山田 恭子 |
| ■ ラコム株式会社 | 花田 善仁 |

新しい方が4名参加
 他にも潜在メンバーは、3名

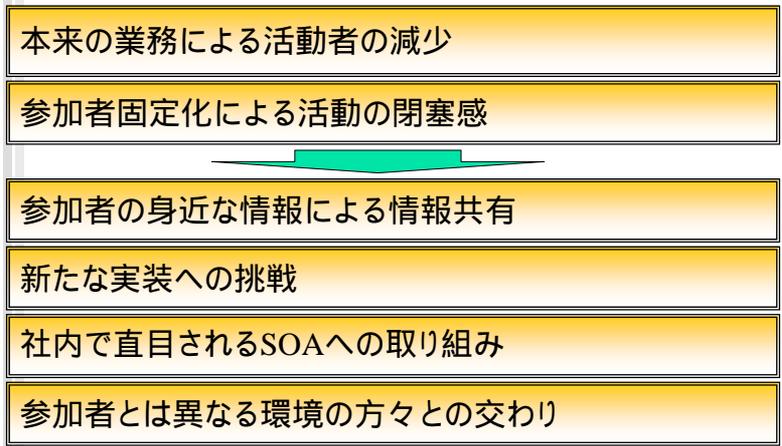
記載以外にも、業務都合で今年度参加できていないだけで
 必ず出欠の連絡者



2007年度の活動骨子



XML Consortium



2007年度活動検討



2006年度までの活動問題点

自社への活動意義報告

現状の職務と離れた技術は、社業貢献につながりにくい。
活動報告と職務との関連の説明が困難。

活動内容の斬新さの欠如

実装(いまどこ)、情報共有(共有TOOL)、事例収集(2年強)

既存参加者のモチベーション

新規参加者の参入障壁の撤廃

活動者の減少

既存参加者の業務都合

新規参加者の減少 参加による刺激の減少

2007年度活動検討



解決策検討

自社への活動意義報告

会社で注目技術の取り込み
各自の職務からヒントを。

活動内容の斬新さの欠如

新規テーマ

メンバー以外との接触

活動者の減少

上記条件を満たしつつ、従来のあらゆる立場での活動基盤
減少した状態でも活動の継続性

継続: 明るく、楽しく活動する。

2007年度活動



1. アーキテクチャ、実装

テーマを決定し、2つのアプローチ
ビジネスプロセスモデリング---SOA
単純なサイト作成

2. 身近なIT業界を知る

各自の業務の紹介と着目技術の共有

3. 他団体との交流

技術者としての刺激

アーキテクチャ、実装概要



1. 内容

フラワーアレンジ販売サイトの作成

2. テーマ設定理由

業務限定で、ビジネスプロセスの複雑化を防ぐ
メンバーの興味(要件を決定しやすい)

3. 実施方法

SOA(サービス導出)、サイト作成の2つの並行実施
1. SOA---ビジネスプロセスモデリングから、サービス抽出
2. 画面構成からサイト作成

システ要件

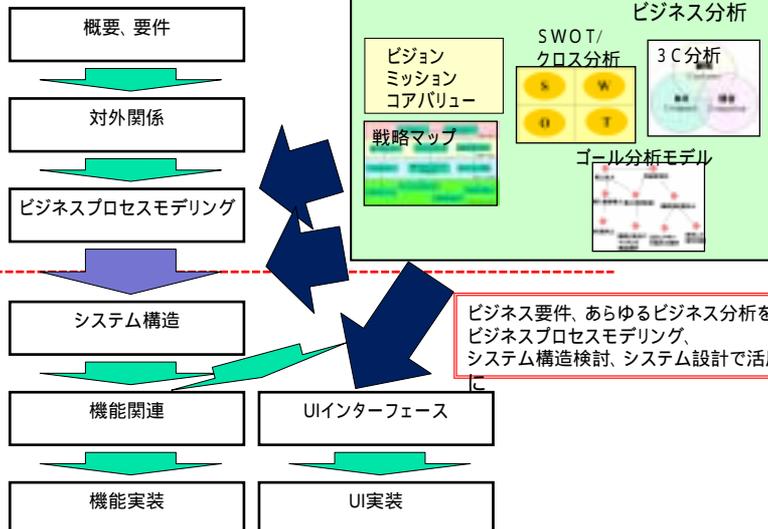


1. 概要検討

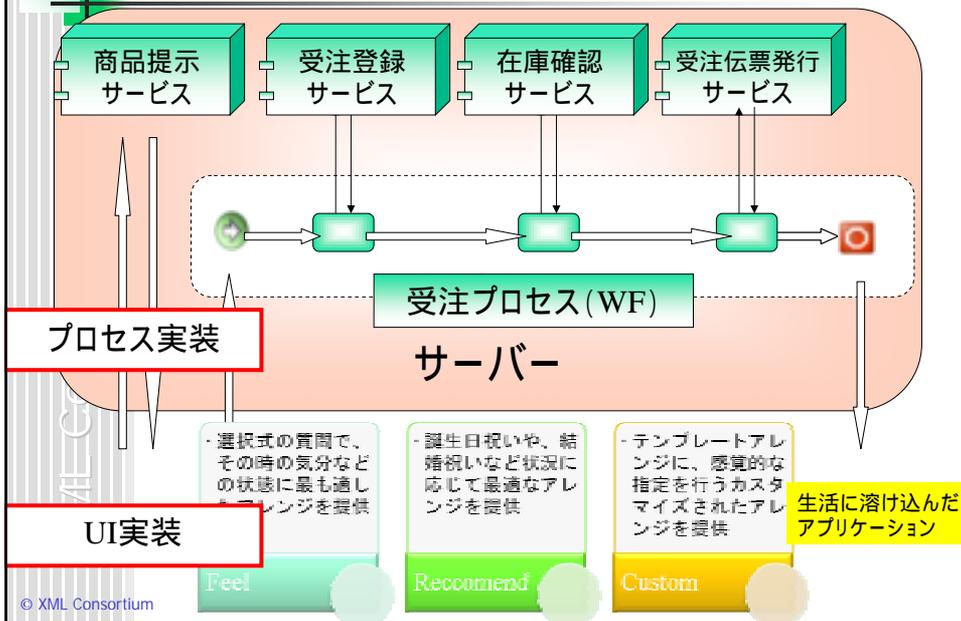
- ビジネスモデル(どのような花屋にしたいか)
- ・販売物
 - 花、鉢植え単体の販売はなし
 - 独創的なフラワーアレンジメントのみ販売
 - アレンジの花はあらゆる種類を準備
 - ・販売方法
 - ネット販売のみ
 - 予約販売、定期注文が可能。場所により当日注文可能
 - ・ビジネスモデル(特徴---上記以外)
 - カタログパターンを提供して顧客が選択
 - 顧客は、「もっと豪華に」「もっと安く」など感覚的に注文可能
 - 気分、うらない等によるアレンジ自動生成
 - ・対外関係
 - 農家のみ提携する(卸の場合、特徴のある花に限られる。)
 - いつでも全商品の在庫がある(農業共同組合)
 - 対象顧客は全国
 - 受注量に応じて、フラワーアレンジャーを追加する(アウトソーシング)
 - ・お金関係の考え
 - 現状はお金に関しては考えない。

シナリオ作成

設計・実装手順



実装イメージ



© XML Consortium

情報共有



要望

他の仕事を知りたい。
現実に使われている技術を知りたい。
トレンドを知りたい。

理由

セミナーと現実にギャップを感じる。
現場にいると現実的な状況が見えない。
現実的な刺激を受けたい。
参加者の人を知りたい

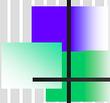
実施頻度

毎月1名(参加者状況により3回実施)

実施内容

現状の業務
or 現状の着目技術
or 周りで行われていること
などの報告

© XML Consortium



外部団体交流



XML Consortium

経緯

部会参加者が、限られる中、あらゆる刺激を受けていきたい。
魅力ある部会運営
部会参加者は、IT業界である。
異なる考え方の意見も聞きたい。

これこそが、【コミュニティ】

実施内容

大学研究室ゼミ生との会合

実施日

7月&11月

参加数

学生、教授：15～20名

部会：8名

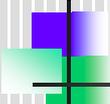
実施内容

双方からの紹介発表

大学：研究室紹介、卒論紹介

部会：Web2.0アプリ紹介他

ワークグループに分かれたワークショップ
(関西独自のシステムを考える、etc)



なぜ、実施したか？



XML Consortium

大学

・現在の状況を知って、研究をすることで、価値ある研究になる。

コンソーシアム関西部会

・現在の研究領域を知ること、現在のシステムの考える糧になる。
・世代の違う人たちのスタイル、考えを知ること、次のシステム検討の参考になる。

メンバーの技術興味

メンバーの新規情報源

部会の活性化

第一回座談会(ワークショップ)詳細



1. 座談会:

議題

ワークグループに分けて話してみる(3チーム6人ずつくらい)

1. 議題1:世の中のITの方向性:
 1. こんなことできたらええなー
 2. 普段こんなふうにつかってまっせ!
2. 議題2:企業システムの方向性
会社でのシステムはどうであつたらいいか?
会社でのシステムはどうあつてほしいか?
3. 議題3:関西とIT
関西でのITっていう特性はあるのか?
もし、仮に関西独自で考えたらどんなITがあるか?

例)感情表現が行えるXMLMailer
システム及びXMLのプロ+現在の
生活を考慮し、検討

第二回座談会詳細



1. 座談会:

議題

ワークグループに分けて話してみる

1. ビジネスモデル
ITにおける産学合同で何ができるか?
2. ITヒューマン
ITの担うための組織内ヒューマン構造(プログラマの地位)
3. 地域独自性
ITにおける関西独自性のあるシステム
4. IT環境
企業システムとパーソナルシステムの在り方

第二回座談会発表例



1. 地域独自性

おばちゃんシステム

携帯というものでなく象徴である自転車への組み込み機能:

井戸端会議情報収集

特売情報収集

突っ込み機能

情報はGridである。

移動状況に応じた情報が集められる。

こういうまとめを実施するにあたって……

携帯を含め小さくなった端末も

使わない人は使わない。

多くの情報を集めれる方策が検索エンジンではなくあるべき。等等

考えるべき課題が多く登場



座談会を通じて感じた内容



参加者意見

普段のかかわる年代とは異なり、生活スタイルから刺激を受ける。

研究開発内容も、現状のビジネスとは異なる観点のため、発想が養われる。

発想自体が、ユニークであり刺激を受ける。

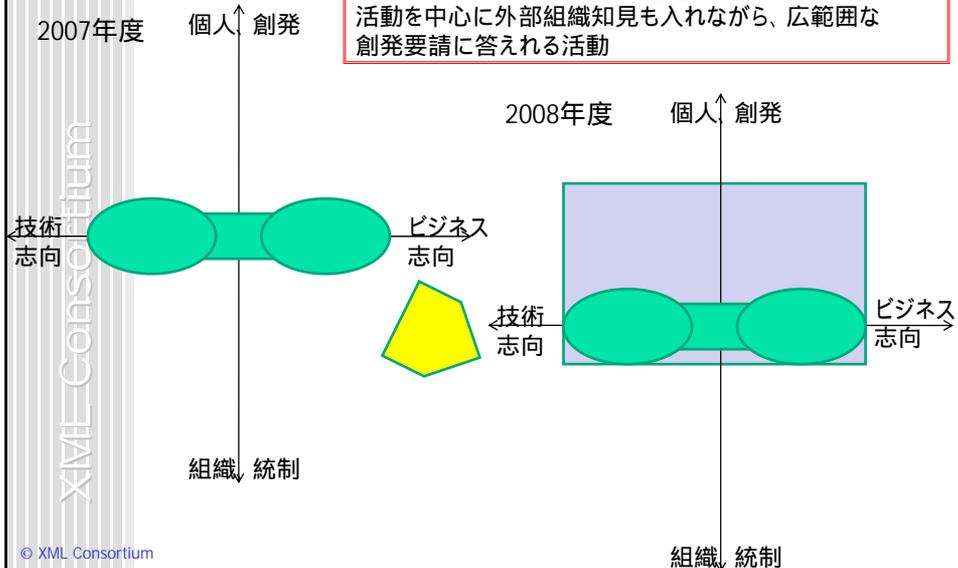
こちらよりビジネスのことを話をすることにより、知らない世界への興味で喜ばれ、うれしい。

今後も継続を行いたい。(参加者全員の意見)

さらに、学校以外にも……

機会があれば、会合の申し出を行い、参加者が刺激をうける場を設けたい。

2008年度の活動



2008年度の活動



2007年度で新規の方4名参加

参加者の身近な情報による情報共有
(新規の方の知識も注入してもらいながら活性)

新たな実装への挑戦

社内で直目されるキーワードへの取り組み(2007年:SOA)

参加者とは異なる環境の方々との交わり